Miyazaki International College

Course Syllabus

|  |  |
| --- | --- |
| Course Title ( Credits ) | EDU312：生徒・進路指導論Theories and Methods of Student Guidance (1 credits) |
| Course Designation for TC | 教員の免許状取得のための必修科目  【科目】  道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目  【各科目に含める必要事項】  生徒指導の理論及び方法  進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 |
| Content Teacher | |
| Instructor | 髙橋 高人（単独） |
| E-mail address | ttakahashi@edu.miyazaki-mic.ac.jp |
| Office/Ext |  |
| Office hours | 質問はメールで受け付けます。 |
| Language Teacher | |
| Instructor |  |
| E-mail address |  |
| Office/Ext |  |
| Office hours |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Course Description: | | |
| 【全体目標】  生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける。  進路指導は、児童及び生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教員が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会との接続を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。  進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。  生徒指導の定義、基本的な考え方、基本的な指導方法、キャリア教育の基本について学ぶ。また、文部科学省の報告書から生徒指導上の諸問題である暴力行為、いじめ、不登校を取り上げ、その現状および対応方法、そして予防的取り組みについて学ぶ。  生徒指導は、学校生活のあらゆる場や機会を通して児童生徒の健全な成長を促し、自己指導能力の育成を目指す営みである。進路指導は、児童生徒の社会的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる営みである。価値観の多様化、急激な社会の変化、高度な技術革新の中で、生徒指導上の各種の問題に対する解決の方策や、小学校からの体系的なキャリア発達を視野に入れたキャリア教育のあり方を考察する。授業形態は講義とする。  アクティブラーニングとして、振り返り、レポート等を取り入れる。 | | |
| Course Objectives: | | |
| 【一般目標】  (1)生徒指導の意義と原理  生徒指導の意義や原理を理解する。  (2)児童及び生徒全体への指導  すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解する。  (3)個別の課題を抱える個々の児童及び生徒への指導  児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解する。  (4)進路指導・キャリア教育の意義及び理論  進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解する。  (5)ガイダンスとしての指導  全ての児童及び生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方を理解する。  (6)カウンセリングとしての指導  児童及び生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解する。  【到達目標】  (1)生徒指導の意義と原理  1)本講では、生徒指導の基礎となる個々の児童生徒の理解と指導に関する基礎的な知識の習得を目指す。  2)生徒指導に関する理論とその活用方法を理解し、学校現場で実践できることを目標とする。  3)生徒指導上、取り上げらえる問題（例えば、いじめ、不登校、暴力行為、キャリア教育）に対する最新データをふまえた現状を理解し、その対応法に関する知識を獲得することが目標とする。  (2)児童及び生徒全体への指導  1)学級担任、教科担任その他の校務分掌上の立場や役割並びに学校の指導方針及び年間指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解している。  2)基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解している。  3)児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。  (3)個別の課題を抱える個々の児童及び生徒への指導  1)校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解している。  ※高等学校教諭においては停学及び退学を含む。  2)暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。  3)インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。  (4)進路指導・キャリア教育の意義及び理論  1)教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けを理解している。  2)学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方を例示することができる。  3)進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解している。  (5)ガイダンスとしての指導  1)職業に関する体験活動を核とし、キャリア教育の視点を持ったカリキュラム・マネジメントの意義を理解している。  2)主に全体指導を行うガイダンスの機能を生かした進路指導・キャリア教育の意義や留意点を理解している。  (6)カウンセリングとしての指導  1)生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義を理解し、ポートフォリオの活用の在り方を例示することができる。  2)キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法を説明することができる。 | | |
| Course Schedule | | |
| Day | Topic | Content/Activities |
| 1 | ｢生徒指導の意義と原理」｢教育課程における生徒指導の位置付け及び個別･集団指導の方法原理」に関する学習 | （１）生徒指導の意義と課題  ・自己指導能力の育成という生徒指導の積極的な意義を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う生徒指導の在り方  ・生徒指導の基盤となる児童生徒理解の深化  （２）望ましい人間関係づくりと集団指導・個別指導  ・よりよい人間関係を主体的に形成していこうとする人間関係づくりとこれを基盤にした学級や学校の教育的環境の形成  （３）学校全体として組織的、計画的に行う生徒指導  （４）教育課程のすべての領域において機能する生徒指導、及び休み時間や放課後の個別指導など教育課程外の教育活動において機能する生徒指導  （５）教育課程の共通性と生徒指導の個別性  （６）①児童生徒に自己存在感を与えること、②共感的な人間関係を育成すること、③自己決定の場を与え、自己の可能性の開発を援助することの三つの視点に留意して行う学習指導  （７）道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動における生徒指導の進め方  （目標(1)-1),2),3),4),(2)-1)） |
| 2 | ｢児童生徒の心理と児童生徒理解」｢学校における生徒指導体制の考え方と指導計画」に関する学習 | （１）生徒指導における児童生徒理解の重要性及びその対象例  （２）児童期の心理的な発達の特徴、発達障害の理解  （３）青年期の心理的な発達の特徴  （４）児童生徒理解の資料とその収集  （５）学校において生徒指導が効果的に機能する組織及び校務分掌上の位置づけ  （６）生徒指導主事の役割と生徒指導主事に求められる資質・能力  （７）生徒指導のための研修及び全校指導体制の確立  （目標(1)-3),(2)-2)） |
| 3 | 「教育相談の体制づくりと進め方」に関する学習 | （１）学校における教育相談の特質及び教育相談体制の構築  （２）学級担任が行う教育相談の進め方、教育相談担当教員が行う教育相談の進め方  （３）スクールカウンセラー、専門機関等との連携  （目標(1)-4),(3)-2)） |
| 4 | 生徒指導の実際「生徒指導の進め方」「個別の課題を抱える児童生徒への指導」に関する学習 | （１）豊かな心をはぐくみ問題の未然防止を図る児童生徒全体への指導・組織的対応と関係機関等との連携  （２）生徒指導における教職員の役割と研修の必要性、守秘義務と説明責任  （３）学級担任の指導の実際　～学級経営と生徒指導の進め方～  （４）問題行動の早期発見と効果的な指導  （５）発達に関する課題と対応  （６）喫煙、飲酒、薬物乱用、暴力行為の現状とその防止に関する指導  （７）いじめ問題に対する理解とその対応　※｢いじめ防止対策推進法」の成立  （８）インターネット・携帯電話等に係る問題  （９）命の教育と自殺の防止、虐待防止への対応  （１０）不登校の考え方とその対応  （目標(1)-4),(3)-1),2),3),(5)-1),2),(6)-1),2)） |
| 5 | ｢進路指導・キャリア教育の必要性と意義」に関する学習 | （１）進路指導・キャリア教育提唱の背景及び進路指導・キャリア教育の定義について  （２）進路指導・キャリア教育の目標及び進路指導・キャリア教育に期待されることについて  （３）進路指導・キャリア教育の意義、中学校における進路指導・キャリア教育について  （目標(2)-3),(3)-2),3),(4)-1),2),3）） |
| 6 | ｢キャリア教育推進のための体制整備と全体計画・年間計画等」｢家庭･地域･異校種間との連携」に関する学習 | （１）校内組織の整備及び全体計画の作成  （２）各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動と年間指導計画  （３）進路指導・キャリア教育に係る家庭・保護者との連携及び地域や企業等との連携  （４）学校間（異校種間）連携  （目標(1)-3),(3)-2),(4)-2),3）） |
| 7 | ｢進路指導・キャリア教育の評価と改善」に関する学習 | （１）進路指導・キャリア教育における生徒の学習状況評価  （２）教育活動の評価と改善  （３）進路指導・キャリア教育における指導計画の評価と改善  （目標(1)-4),(3)-1),(4)-1,2）） |
| 8 | ｢中学校や高等学校におけるキャリア教育の推進」に関する学習ために | （１）中学校におけるキャリア発達  （２）中学校・高等学校におけるキャリア教育の全体像  （３）中・高連携を生かし、学びのつながりを意識した進路指導・キャリア教育  （４）ガイダンスとカウンセリング  （５）キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践  （目標(1)-2),(3)-3),(4)-3),(5)-1),2),(6)-1),2)） |
|  | 期末試験 |  |
|  | | |
| Required Materials: | | |
| テキスト：『生徒指導提要（最新版）』（文部科学省刊）『中学校キャリア教育の手引き』（文部科学省刊）『高等学校キャリア教育の手引き』（文部科学省刊）  参考書：『中学校学習指導要領（最新版）解説　総則編』 | | |
| Course Policies (Attendance, etc.) | | |
| 教職を目指す学生として教員の崇高な使命をよく理解するよう努めることが肝要である 。 授業は欠席や遅刻をすることなく 積極的に参加するように心がけること。 特に、 時間に凡帳面であることと、 日常生活の態度 （ あいさつ、 身なり 、 言葉遣い等） には気をつけること。 教員採用試験に向けて教職教養の勉強をしっかり して力をつけること。 | | |
| Class Preparation and Review | | |
| 事前・事後学習として週４時間以上行うこと。  講義終了後、取り上げたテーマや問題について自分が興味を持てたこと、重要だと感じたこと等について、自分なりに情報収集して理解を促進すること。 | | |
| Grades and Grading Standards | | |
| 期末試験90％、発表10％  期末試験、各講義において実施する課題によって評価する。所定の時間数出席しなければ受験資格は得られない。出席不足の場合は改めて受講しなければならない。 | | |
| Methods of Feedback: | | |
| リアクションペーパーへの質問・感想については、次の回の授業でフィードバックを行う。 | | |
| Diploma Policy Objectives: | | |
| Work completed in this course helps students achieve the following Diploma Policy objective(s):  3. The ability to identify and solve problems  4. Advanced communicative proficiency in both Japanese and English | | |
| Notes: | | |